

株式会社コメリ

2026年3月期

決算説明会資料

(2025年4月1日～2026年3月31日)



KOMERI

<https://www.komeri.bit.or.jp/>



2026年4月30日
東証プライム (8218)

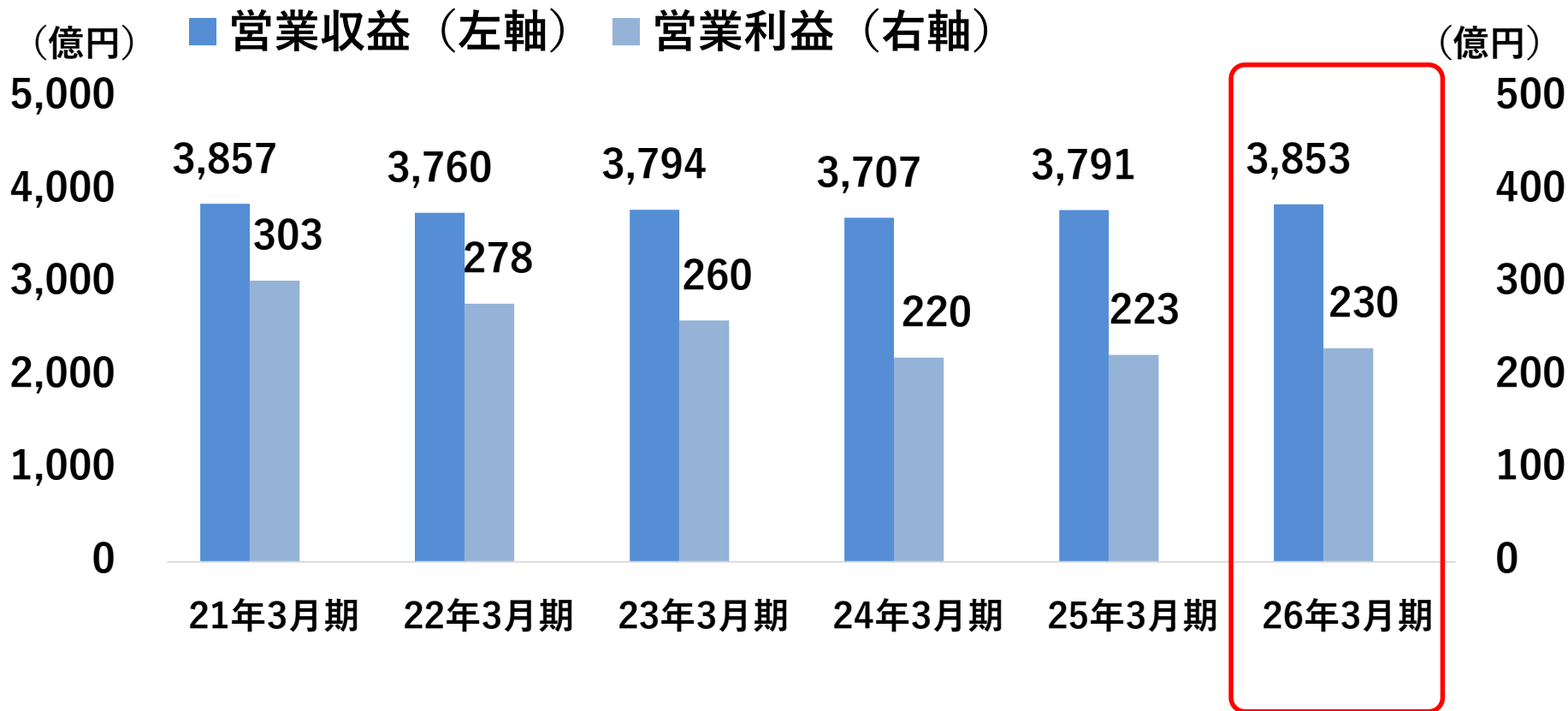
2026年3月期 決算実績 (連結)



(単位：百万円)

	2026年3月期 実績	営業収益比	前年比
営業収益	385,384	100.0%	101.6%
営業総利益	133,129	34.5%	102.3%
販売管理費	110,073	28.6%	102.1%
営業利益	23,055	6.0%	102.9%
経常利益	23,395	6.1%	105.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,645	3.8%	106.7%

営業収益・営業利益推移



- ・ 春先は天候が不安定だった為に、ガーデニング用品が低調
- ・ 6～8月は酷暑と熱中症対策の義務化により冷房用品が堅調
- ・ 発電機や乾電池等、昨年の防災用品特需の反動減
- ・ 中東情勢の影響により、生活必需品等の販売が堅調

商品カテゴリー別実績



(単位：百万円)

	2026年3月期				
	売上金額	前年比	営業収益比	荒利益率	前年差率
工具・金物・作業用品	69,840	101.8%	18.1%	42.5%	▲0.2
リフォーム資材・エクステリア用品	55,705	100.9%	14.5%	29.2%	+0.1
園芸・農業・ペット用品	116,313	103.3%	30.2%	30.9%	+0.3
日用品・家電・カー・レジャー用品	75,523	101.4%	19.6%	26.0%	+0.4
インテリア・家庭・オフィス用品	33,704	98.8%	8.7%	39.9%	▲0.2
燃料等	14,998	97.3%	3.9%	13.2%	±0.0
その他	14,829	105.2%	3.8%	100.0%	+1.6
ホームセンター事業計	380,916	101.7%	98.8%	34.6%	+0.2

- ・ 作業シートや電材等の建設事業者向けの商品が堅調
- ・ 合板等の市場単価下落による販売金額の低下
- ・ カー用品のPBブランド「CRUZARD」が堅調
- ・ カーペット等の耐久消費財の販売が低調

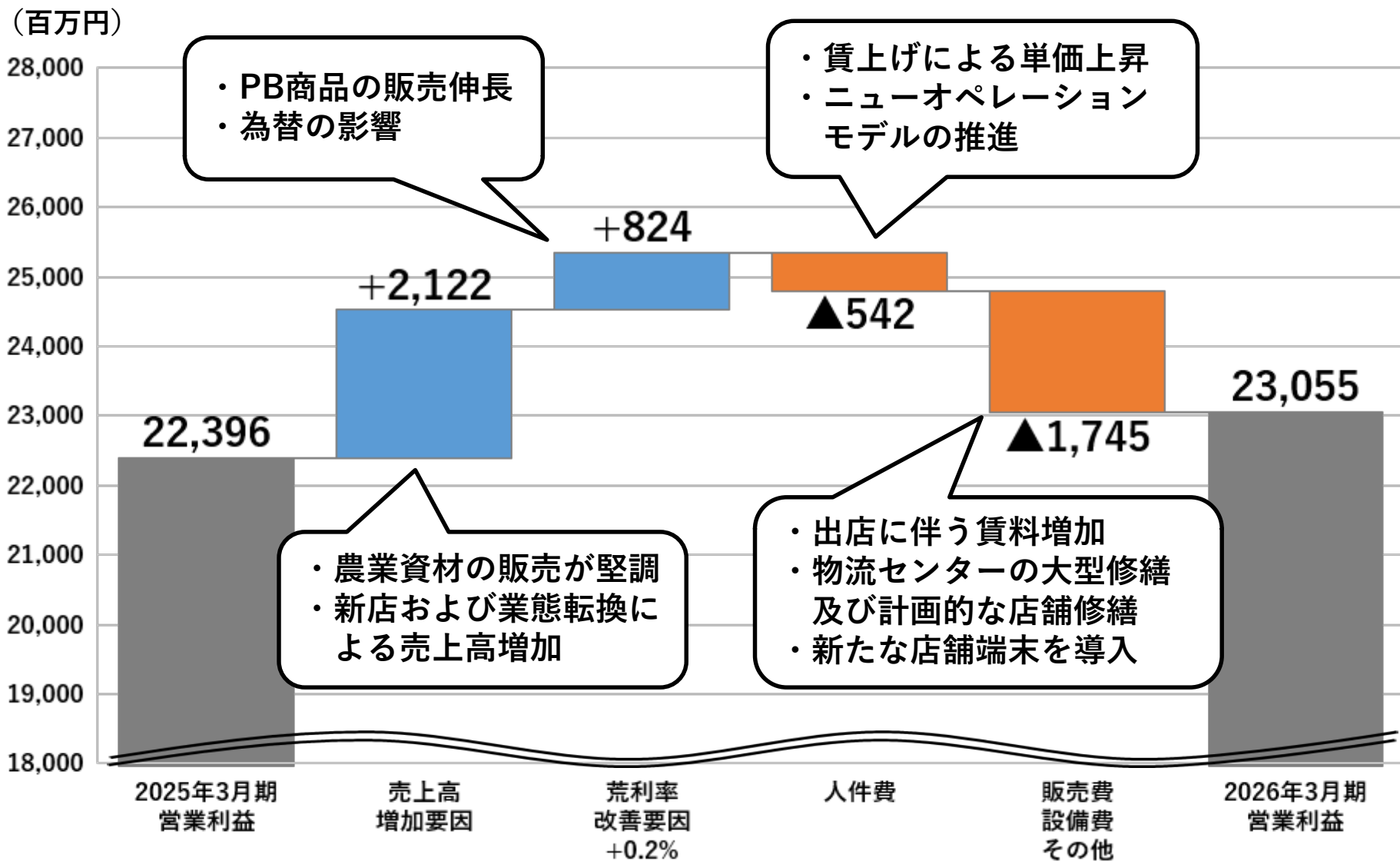
フォーマット別実績



	2025年3月期		2026年3月期	
	売上 前年比	売上 既存比	売上 前年比	売上 既存比
パワー	103.0%	101.1%	103.3%	101.2%
PRO	143.6%	106.1%	123.8%	107.3%
ハード&グリーン	101.2%	100.8%	100.0%	99.8%
合計	102.3%	101.0%	101.6%	100.5%

- ・パワーは冷房用品等の夏物関連商品が堅調
- ・PROは作業シートや電材等の消耗資材や、熱中症対策の義務化によりファン付ウェア等が堅調
- ・ハード&グリーンは、灯油販売の低調が大きく影響

営業利益増減要因



販売管理費



(単位：百万円)

	2026年3月期		
	実績	前年比	前年差
人件費	48,305	101.1%	+542
販売費	12,493	97.9%	▲267
設備費	37,488	103.6%	+1,296
その他経費	11,786	106.5%	+717
合計	110,073	102.1%	+2,288

- ・ニューオペレーションモデルにより人件費の増加を抑制
- ・新規出店に伴う賃料の増加
- ・物流センターの大型修繕及び計画的な店舗修繕
- ・生産性向上のため、新たな店舗端末を導入

連結貸借対照表



(単位：百万円)

	科 目	2026年3月末	2025年3月末	前期末増減
資産 の部	流動資産	183,200	181,484	+1,715
	うち 現金及び預金	12,130	16,342	▲4,212
	うち 商品	132,696	130,419	+2,276
	固定資産	210,994	205,176	+5,817
	うち 有形固定資産	183,130	178,258	+4,871
	うち 無形固定資産	9,441	9,120	+321
	資産合計	394,194	386,661	+7,532
負債 の部	流動負債	98,575	105,740	▲7,165
	うち 短期有利子負債	15,276	22,613	▲7,337
	固定負債	38,639	34,604	+4,034
	うち 長期有利子負債	15,576	11,530	+4,046
	負債合計	137,214	140,345	▲3,130
	純資産合計	256,979	246,316	+10,663
	負債・純資産合計	394,194	386,661	+7,532

設備投資の状況



	2026年3月期 計画	2026年3月期 累計実績	> >	2027年3月期 設備投資計画
新規出店	35店舗 130億円	22店舗 104億円	> >	42店舗 140億円
既存店 改装等	売場面積の 10%強 30億円	142店舗 92,452坪 21億円	> >	約140店舗 約10万坪 30億円
流通 センター	センター新設 既存センター機能拡充 120億円	新関西流通センター 稼働開始 104億円	> >	既存センター機能拡充 10億円
各種 システム投資	20億円	19億円	> >	20億円
GX投資	—	パワー2店舗 センター2カ所 2億円		20億円
合計	300億円	250億円	> >	220億円

2026年3月期 出店状況



■ 出店 店舗数：計1,234店舗

総売場面積：前期末比101.8% (2026年3月末時点)

出店	合計	パワー	PRO	H & G	アテナ
'26年3月期出店計画	35	8	8	19	0
'26年3月期出店実績	22	6	5	11	0
退店 (業態転換・移転増床含む)	16	0	0	14	2
'27年3月期出店計画	42	8	8	26	0

■ 改装

	改装店舗数	改装坪数
'26年3月期 累計実績	142	92,452坪
'27年3月期 計画	約140	約10万坪

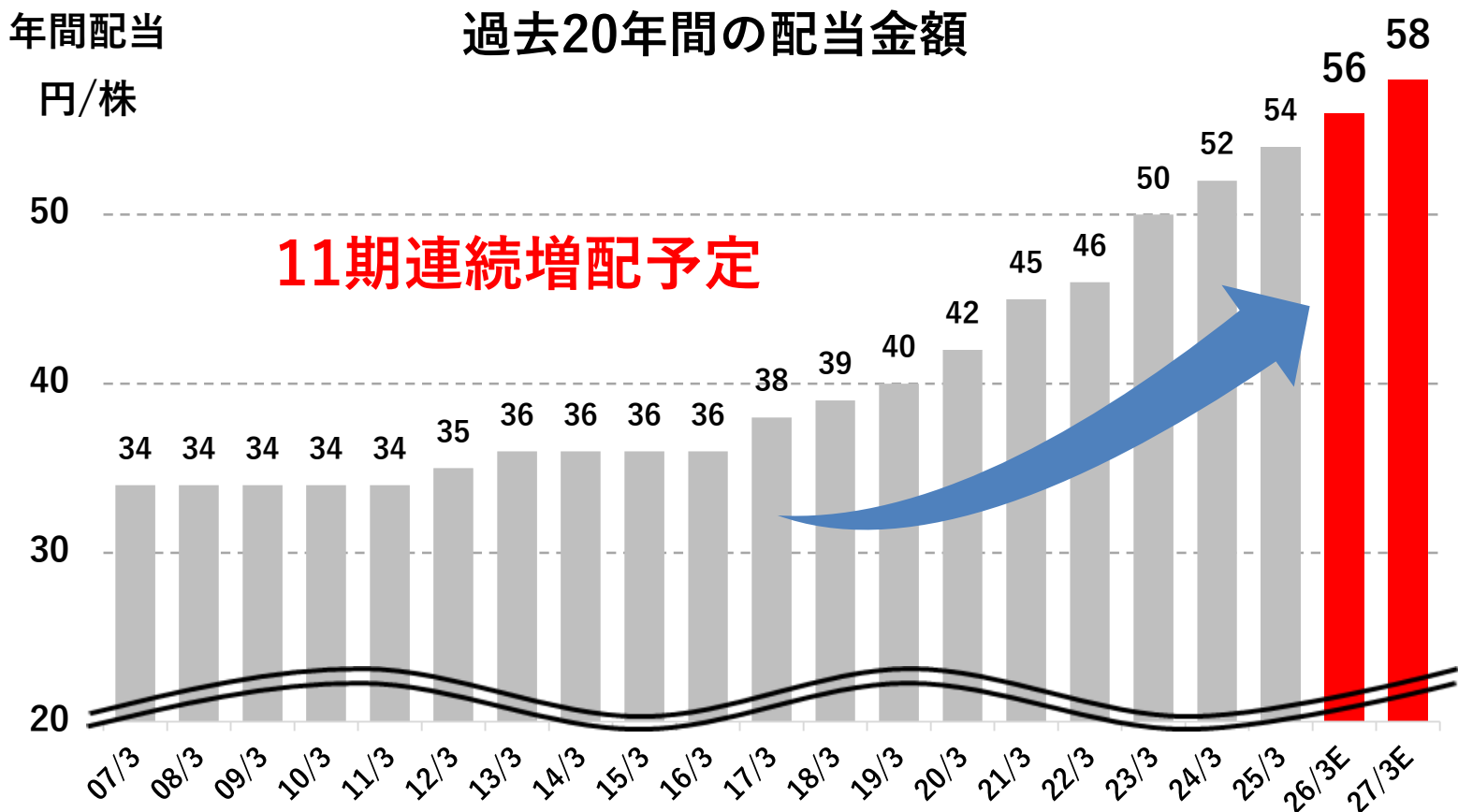
- ・ H&Gのプロトタイプの水平展開
- ・ キープヤング

改装実施後
売上高 約5.2%増

株主還元方針



■当社グループは、流通近代化の実現が中長期的な企業価値の向上、株主利益の増大に寄与するものと考えております。利益分配につきましては、業績の成長に応じて配当の維持または増配を行う累進配当を基本としております。



2027年3月期業績予想



(単位：百万円)

	2026年3月期 実績	前年比	2027年3月期 上期業績予想	前年比	2027年3月期 業績予想	前年比
営業収益	385,384	101.6%	209,500	104.1%	400,800	104.0%
営業利益	23,055	102.9%	16,400	106.8%	24,000	104.1%
経常利益	23,395	105.2%	16,350	104.8%	23,900	102.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	14,645	106.7%	11,000	106.2%	15,000	102.4%
配当金	中間 28円 期末 28円	+2円	中間 29円	+1	期末 29円	+1円

※2026年3月期末配当は予定

2027年3月期

主要施策



『衣食住』 → 『住食衣』 へ

お客様のご不満が最も多いのは“住関連分野”



自宅での時間をもっと楽しみたい
ライフスタイルの変化に対応したい



遅れた分野の流通近代化

- ・ 多段階にわたる流通構造
- ・ バルキーで物流が難しい分野（木材など）

原材料

加工

運搬

販売

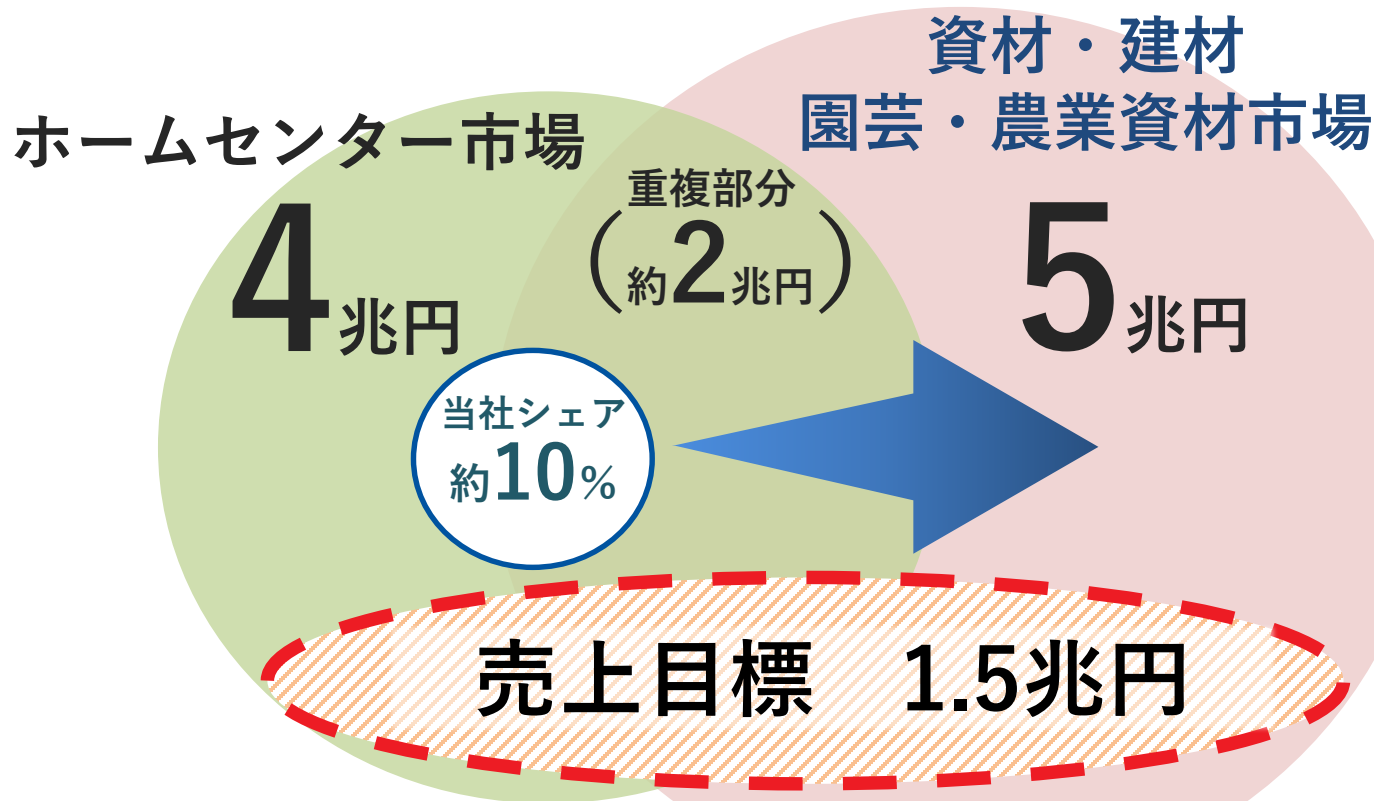


近代化が遅れた分野の改革

→ 多くの近代化のメリットを享受できる

コメリがチャレンジする分野

→コメリがチャレンジする 7兆円市場



出所：経済産業省「商業動態調査」、総務省統計局「全国家計構造調査」、農林水産省「農林業センサス」「営農類型別経営統計」より当社推計

流通近代化のためのアプローチ



標準化されたフォーマット



KOMERIハード&グリーン

0.8万人商圏で1店舗出店が可能な独自フォーマット
小商圏フォーマットであるが由に多店舗展開が可能



KOMERIパワー

3,000坪級の本格的メガホームセンター
旗艦店として周辺のハード&グリーンとも連携

流通近代化のためのアプローチ



核カテゴリーの更なる深耕



KOMERI PRO

KOMERIパワーの資材館をスピンアウト
資材・建材・工具金物のカテゴリーを強化
プロ客の利便性の大幅向上

KOMERIハード&グリーン／KOMERIパワー

立地与件・競合与件にあわせて
農業資材分野を強化



ローコストこそ最大の武器

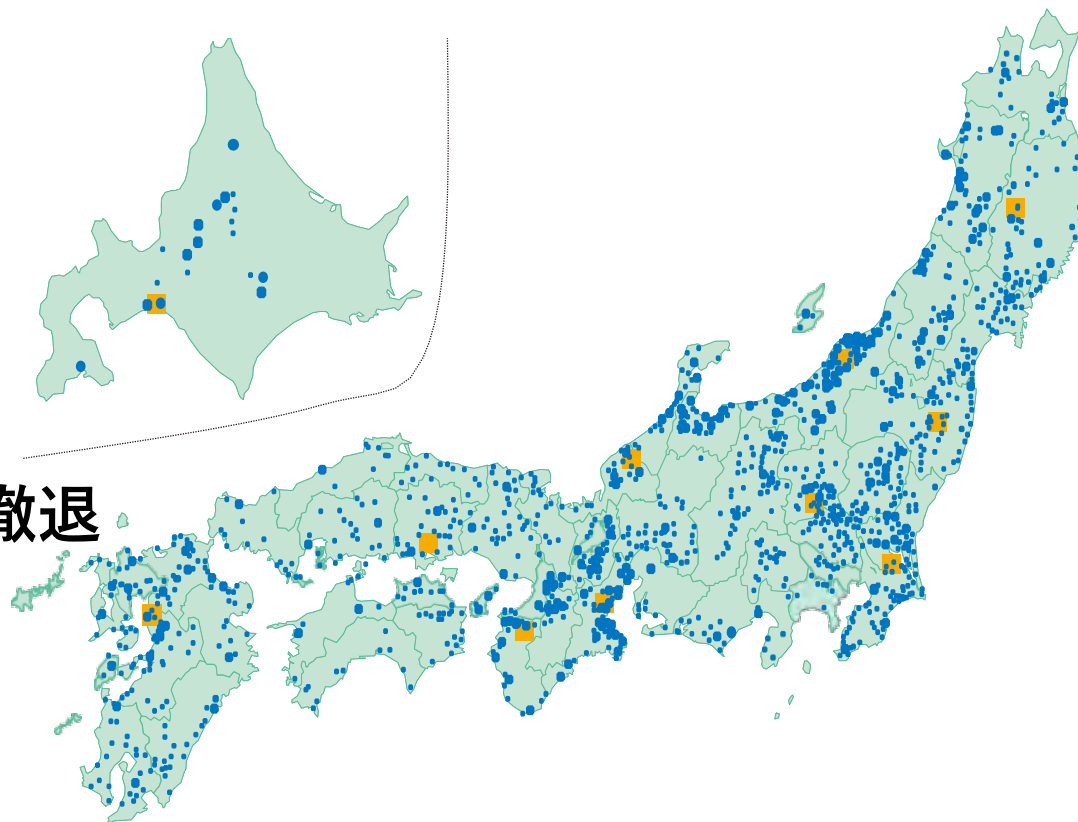
■低損益分岐点を実現

『建設費』 『仕組み』 → ローコストオペレーションの実現

- ・人口減少
- ・オーバーストア

損益分岐点の高い店から撤退

売上は残存店に上乘せ



改装による既存店の活性化

立地与件、競合与件の変化に対応

・ キープヤング



・ プロトの水平展開



・ フォーマット転換



- ・ 2027年3月期改装計画
約**140** 店舗
(改装面積：約10万坪)

- ・ 改装実施後
→ 売上高 約**5.2%**増
(2026年3月期 改装実施店舗実績)

- ・ パワー/PROへの業態転換
→ 増床及び棚割の見直し
→ 専門サービスの充実

商品力の強化

マス化による商品カアップ

標準化された
店舗数

×

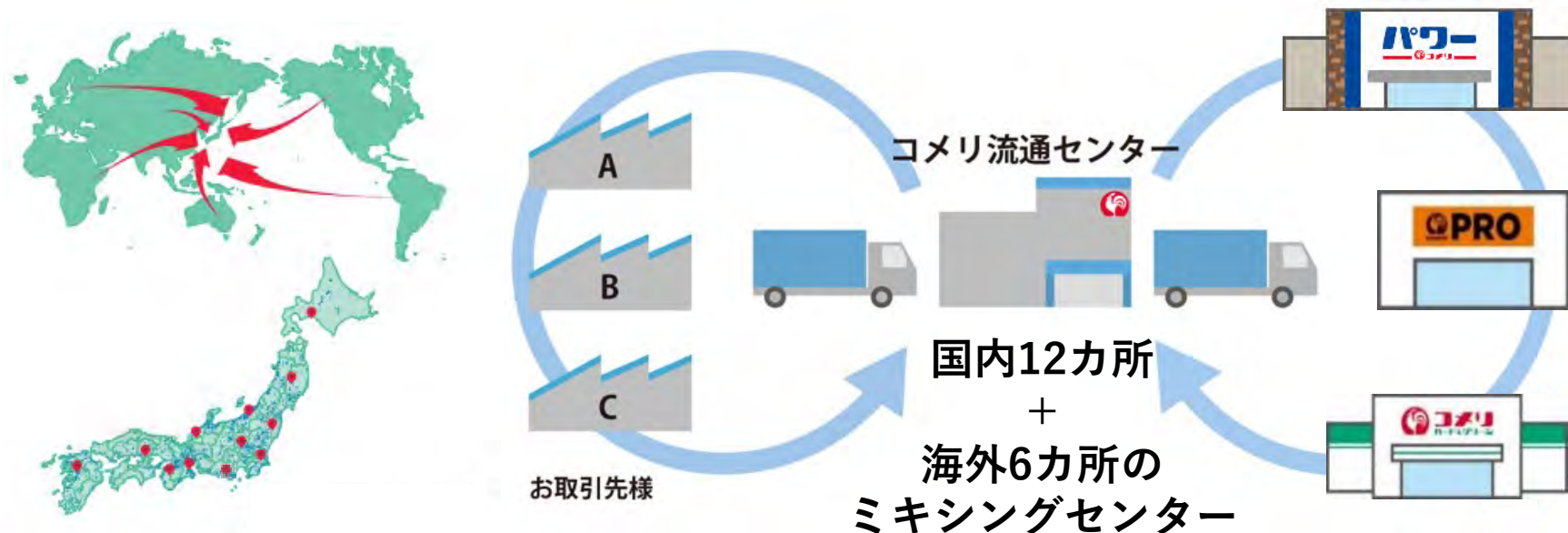
1店当たりの
取扱量拡大

=

マス化

商品力強化の為の物流

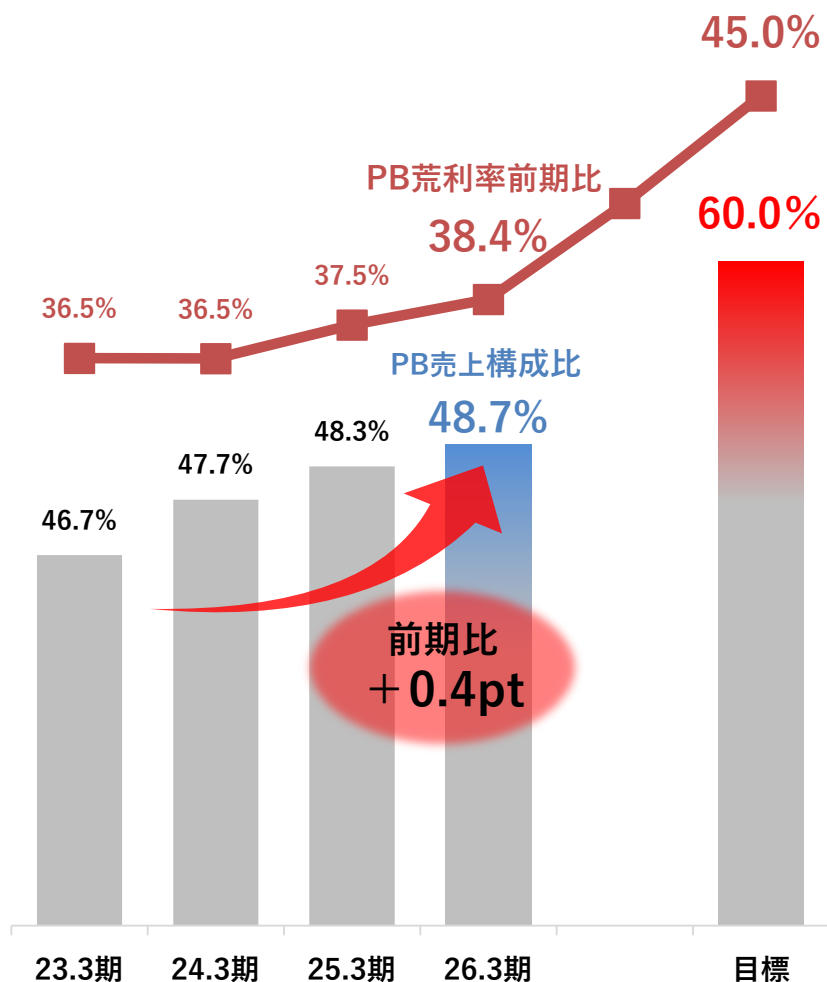
- ・ より良い商品をより安く、世界のベストソースから



商品力の強化



プライベートブランド商品の強化



PB売上高 前年同期比 **102.6%**

商品力の強化



プライシングポリシー

暮らしを守る（同じ商品であればどこよりも安く）

暮らしを育てる（同じ価格であればどこよりも良い商品を）



とく
得値

今イチオシの
お買得商品!



安さ
毎日
EVERYDAY LOW PRICE

目印は
このマーク

お客様の生活応援!
EVERYDAY LOW PRICE

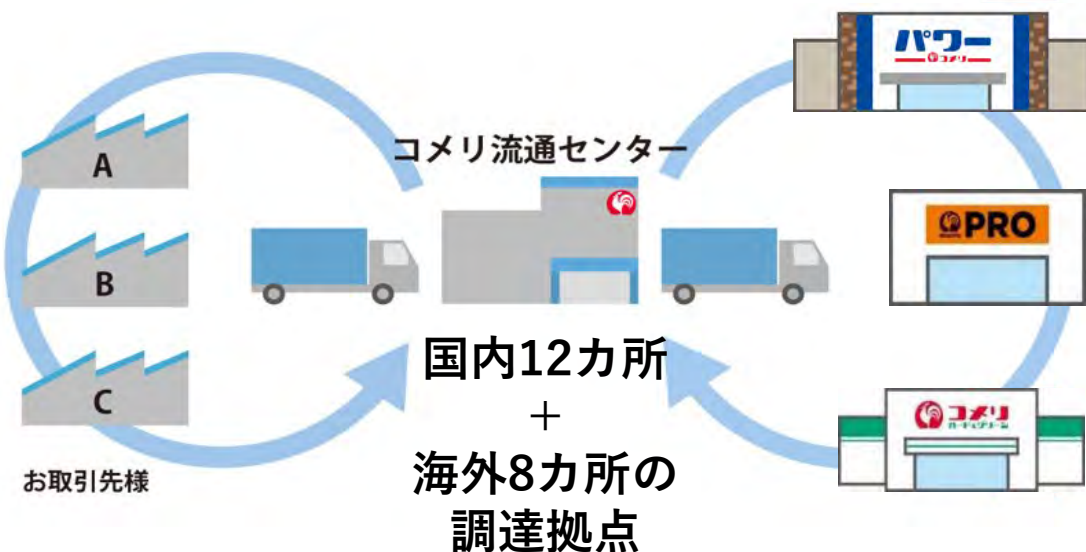
毎日がお買い得価格



商品力の強化

生産から販売までのバリューチェーン創り

- ・ 調達から販売までをトータルプロデュース
→ メーカーを含むいかなる調達先との取引を可能にする

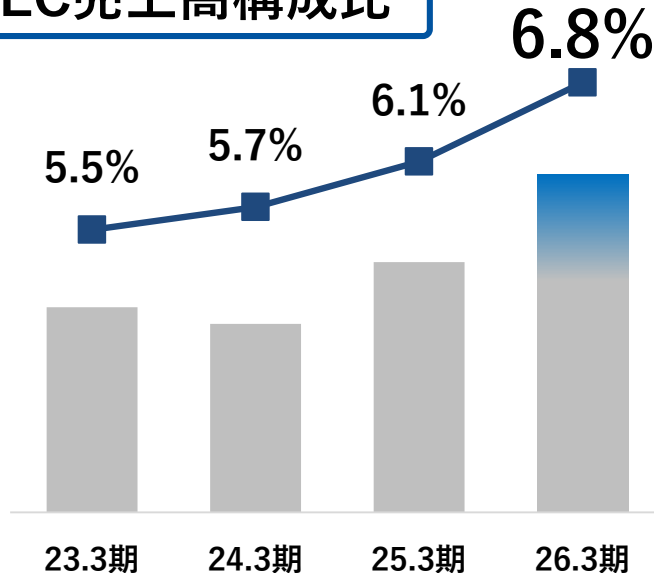


<新関西流通センター>

ネットとリアル融合

- ・ 1,200を超えるリアル店舗の強みを活用
- ・ EC売上前期比112.8%、EC売上比率6.8%
- ・ EC注文商品の店舗受取比率は80%超

EC売上高構成比



送料不要の
店舗受取
BOPIS

約52万SKUが
ネット注文可能

 **KOMERI.COM**



リフォーム事業



店舗網を活かしたチェーンリフォーム

- ・標準化された「商品力・提案力・施工力」
- ・リフォームマイスター2級取得率：**86.6%**
(2026年3月末時点)



DXの取り組み

ローコスト運営の拡大

- ・セルフレジ設置店舗は167店舗に拡大（1店舗あたり平均5.6台）
- ・お掃除ロボット導入店舗は26店舗に拡大
- ・AIを活用した業務効率化

DXの推進



店舗作業の
軽減・効率化



人材の成長



従業員の
スキルアップ



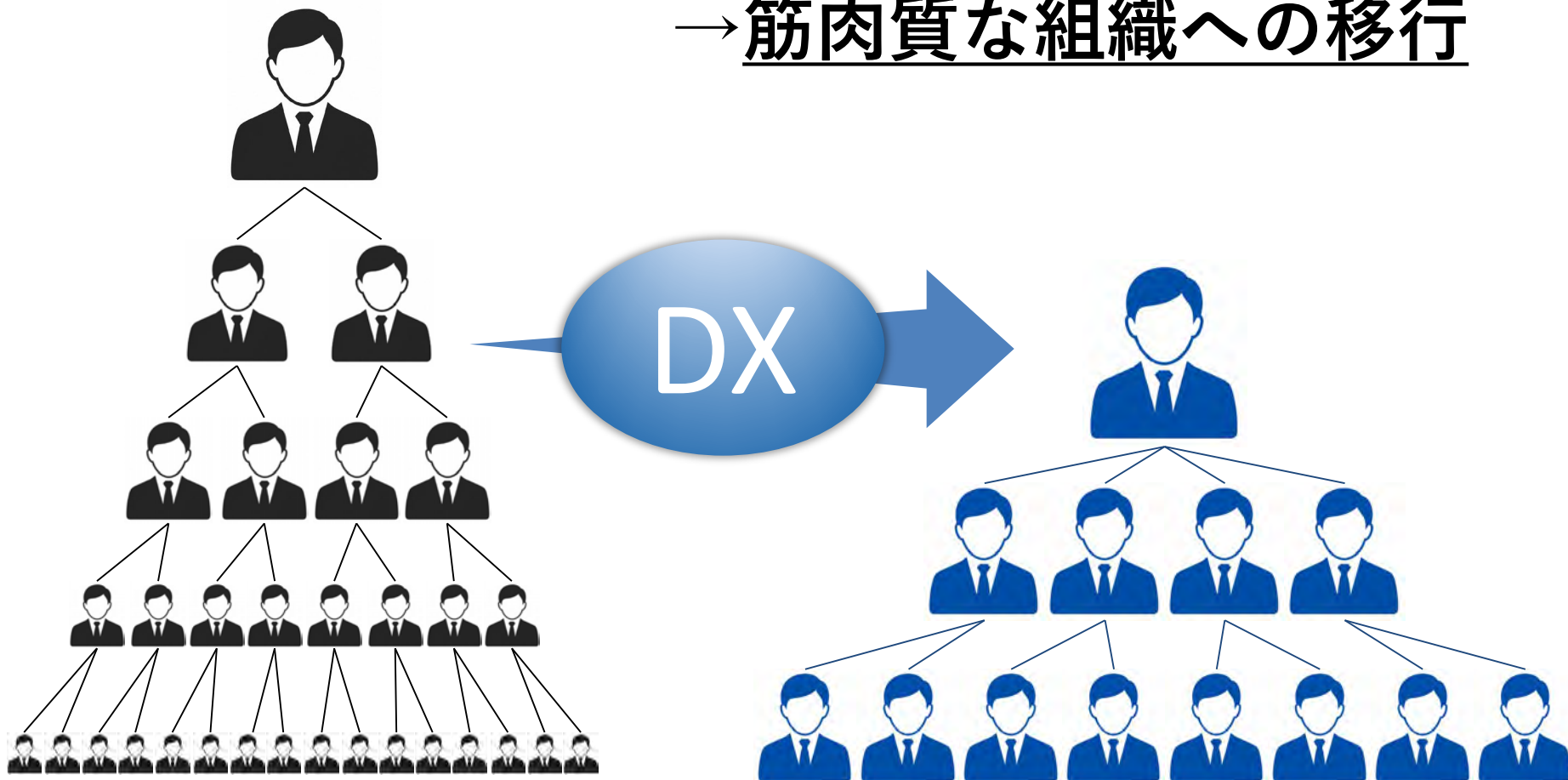
ソリューション力の強化



接客時間の確保
サービス品質の向上

本部業務の再編成

DXによる業務フローの変更
→ 筋肉質な組織への移行



つながる営業体制の構築

- ・ 個人、農家、法人等の決済ニーズに合わせた6種類のカード
→カードホルダーの売上構成比約50%
- ・ 年間の購入金額に応じてポイント率を優遇するFSP施策
- ・ カードとアプリの連携によりお客様のニーズに合ったCRM

FSP制度



アプリ連携

コメリのスマホ決済

- お買い得情報が届く
- お店の在庫がわかる!
- お店で商品の場所がわかる!
- 当選確率アップ

ダウンロードはこちらから

〇〇番通話にこいては!

〇〇〇〇キャンペーン

アプリからのエントリーで応募口数UP!

お客様に合ったCRM

春の農業用品 予約受付中

灯油宅配 一回のお申込みで ひと冬安心

リフォーム

B2Bの強化



法人営業部

核カテゴリーである「資材・金物」「農業資材」は
プロのニーズが大きい分野

後方支援



ビジネスカード会員様限定!!
即割
最大 **2%** 引き
※ご利用金額により、翌年の割引率が異なります。



収穫時期に合わせた
「収穫期払い」で
最長 **12** ヶ月後に
お支払い

法人様向け
掛売会員証

農業用品
予約受付中

無料配達
※送料別
大袋肥料
50袋~



農業分野の取り組み

農業産業化に向けた4本柱

政策①
営農指導体制の確立



政策②
農産物の流通支援



農業者の
生産性&所得 向上

政策③
ローコストな
生産資材の供給



政策④
収穫期払いの
決済機能の整備



農業分野の取り組み

農業者の支援

- ・ 8JAとの協業関係
 - JAの商品を取り扱っている店舗は47店舗に拡大
 - JA・農業者・コメリの「三方良し」
- ・ さらに3JAと協業開始に向けた協議を継続中



<アグリ営業マネジャーによる営農指導>



<2026年2月/JA大井川との協業開始セレモニー>

人的資本投資



お客様のお困りごとを解決できる人材・環境づくり

業務習得



Eラーニング
OffJT & OJT

ソリューション力



接客力向上の社内資格
マイスター2級・1級

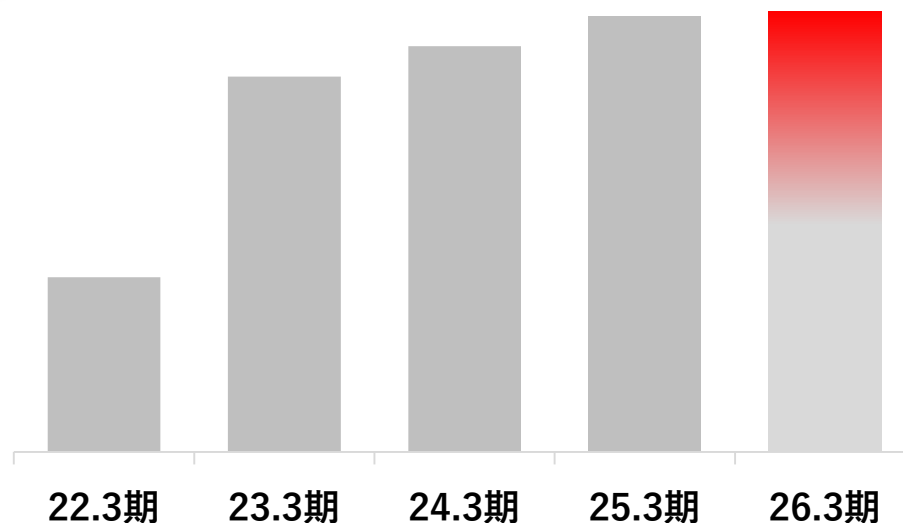
賢和塾

人財投資金額
18.8億円

マネジメント



中堅育成研修
大型店店長研修等



CDPに基づく配転



FA制度導入



計画的配転



企業価値向上に向けて



成長に向けた計画

新規出店



投資予定金額
140億円

既存店改装



投資予定金額
30億円

物流



投資予定金額
10億円

DX投資



投資予定金額
20億円

GX投資



投資予定金額
20億円

2027年3月期
設備投資計画

220億円

サステナビリティの取り組み

太陽光発電設備の導入拡大



	2026年 3月末時点 設置数	>	2027年 3月期 計画	2027年 3月期 累計
店舗	21	>	+57	78
物流センター	6	>	+1	7
合計	27	>	+58	85

年間CO2排出削減量：約6,460 t

国際輸送での一貫パレチゼーション開始



PB商品を輸入する際、レンタルパレットを国際間で循環して使用できる仕組みを構築

- ・木製パレットの購入・廃棄コスト削減
→CO2排出量：年間約170 t 削減
- ・積替えを無くし現場作業の負荷を削減
→作業時間：年間約1,016時間短縮

サステナビリティの取り組み



電気自動車用の急速充電機設置



「急速充電機設置」

- ・脱炭素社会への貢献
- コメリパワー27店舗に設置

女性活躍推進、両立支援

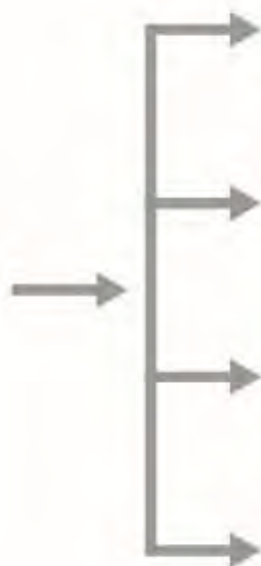


「くるみん認定」 (2024年5月)

- ・従業員が安心・安全・健康に働くことができる「働きがい」を感じられる環境の確保

地域社会へのご恩返し「コメリ緑資金」

1990年から毎年利益の約1%相当額を活動原資として、
社会貢献事業に役立てています



公益財団法人 コメリ緑育成財団

NPO法人 コメリ災害対策センター

公益財団法人 美術育成財団雪梁舎

地域の文化振興・社会振興



公益財団法人

コメリ 緑育成財団

コメリ緑資金助成

コメリ緑資金
ボランティア

農業の振興・
支援事業



森林整備や自然環境の保全・育成に貢献
一般公募助成：35件（24都道府県）
ボランティア件数：379件

 **NPO法人
コメリ災害対策センター**

< 静岡県川根本町/協定締結式 >



< 新関西センター内/災害への取り組みを紹介 >

NPO法人コメリ災害対策センター設立20年

- ・ 1,223団体との物資支援協定を締結（26年3月末時点）
- ・ 災害発生時に必要物資を素早く供給できる体制を整備

公益財団法人美術育成財団雪梁舎

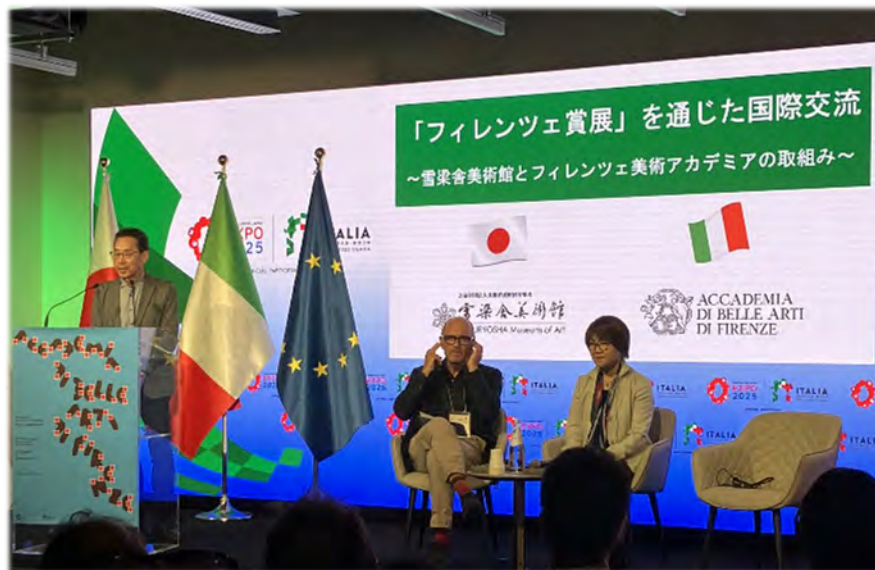


雪梁舎美術館

SETSURYOSHA Museum of Art

若手芸術家の育成支援

→フィレンツェ賞展優秀者へフィレンツェへの留学支援



- ・大阪・関西万博イタリア館

- 若手芸術家の育成支援活動についてプレゼン

- ・隣接するコメリパワーにて「雪梁舎ギャラリー」を展開

- インテリア・ホームデコレーションとしての絵画を展開



KOMERI

【見通しに関する注意事項】

当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する記述が含まれている場合があります。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定に基づくほか、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。したがって、現実の業績は当社の見込とは異なる可能性があります。